

職員による自己評価

- A 環境面
- ・基準内とはいえ、実務上の送迎や見守りに職員数が足りていないと感じる
 - ・活動スペースが狭く感じる
- B 児童への支援内容
- ・プログラムは固定せず工夫して平日・祝日長期休みに応じて支援出来ている
 - ・研修・勉強会・支援会議の機会が減っている
 - ・職員間の支援内容の情報共有が乏しい
- C 関係機関との連携
- ・学校間での情報共有は密に行っている
 - ・自粛傾向にあり、あまり行えていない
- D 保護者への説明責任・信頼関係
- ・連絡帳や送迎時の伝言などでき得る限りの説明をしている
 - ・事業所外での相談などに細かく応じている
- E 非常対応
- ・消防計画に基づき年2回の避難訓練の実施と報告を継続している。
 - ・災害時備品や備蓄を備えている。

保護者による評価

- A 環境面
- ・正直あまり見たことがなくスペースやバリアフリーが適している環境かわからない
 - ・着替えや昼寝スペースがあると良い
- B 児童への支援内容
- ・支援に大変満足している
 - ・個々の能力にあった+αの支援があれば尚良
 - ・コロナ禍なので自粛傾向は仕方ない
 - ・楽しみに通っている
 - ・職員の数が足りていないと感じている
 - ・行きたくないといっている
 - ・職員の言葉使いが適切ではない
- C 事業所からの情報発信
- ・迅速な情報伝達をしてくれていて信頼できる
 - ・毎月のお便りを楽しみにしている
 - ・送迎時の細かな様子伝達がありがたい
- D 非常対応
- ・避難訓練実施の報告は聞いている

事業所内での分析

【共通点】

- ・年齢も上がってきて児童たちの活動スペースにもの足りなさを感じている
- ・実務上で職員の数足りていないと感じている
- ・支援内容・プログラム内容共に満足してもらっている（楽しみに通っている）
- ・日々の活動内容やその日の様子伝達を欠かさず行いそれが満足度・信頼関係構築にもつながっている
- ・避難訓練や避難場所はマニュアルもありお互い把握している

【相違点】

- ・事業所での具体的な雰囲気は保護者には分からない（事業所内をじっくり見たことが無い）
- ・来たくないと思っている児童も少数いる
- ・

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 支援内容、プログラムは飽きのこないよう工夫している
- ・ 土日祝関わらず週7日営業している
- ・ 月の会報や連絡帳、送迎時の伝達などの細やかな情報開示
- ・ 消防計画に基づいた災害時訓練の実施

事業所の改善点

- ① 職員会議の回数を増やす
- ② 勉強会や研修を重ね職員の資質向上を図る
- ③ 虐待防止を基本から見直す
- ④ 職員数の増員

事業所の改善への取り組み

- ① 来月のシフト作成時に職員会議の予定を組み込み多くの職員で実施していく
- ② 職員会議に勉強会や研修・支援会議も組み込んで計画的に実施していく
- ③ 行政の虐待防止マニュアルを基に会議に勉強会として組み込んで実施していく
- ④ 職員の募集をかけ数を補填していく（すでに実行中）

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も保護者様始め事業所のスタッフ一同、アンケートのご協力ありがとうございました。個人的な感想としてはまだまだ気を使って本音が出ていない気もしますが、中には厳しい意見もありました。それを真摯に受け止めて今後のよりよい支援につなげていくことが我々の責務だと思っています。事業所の強みを生かしてアンケート以外でも意見を吸い上げ、また発展に生かしていければと考えます。

これからも岡喜児童デイサービス弥生台を宜しくお願い申し上げます。

事業所名 岡喜児童デイサービス弥生台

担当者 金盛 裕一